

◆第132回研究会・共同企画 2012★練馬企画(活動記録+評価集計結果)◆

企 画■秋の練馬、昔と今と未来を、自転車で駆け抜ける

(都市と住宅を考える会+teku-tekuの共同企画)

日 時■2012年10月13日(土) 10時~15時頃

コース■大泉学園駅(集合、タウンサイクル借用)~白子川源流井頭公園+井頭憩いの森~インザファーム  
~石庭の森緑地~大泉学園町住宅地~農家レストランLa毛利(ランチ、意見交換)~旧将校住宅地  
~大泉学園駅(散会、タウンサイクル返却)

参加者■◎小場瀬令二+宮下泰昌、呉祐一郎、重永真理子、恒川磯雄、中島睦之、古里 実  
(以上7名、敬称略、◎コーディネーター)

企画主旨■今回は、東京23区の中でも田園風景が残る練馬区西部を採り上げます。今春から練馬まちづくりセンターの所長を務められている小場瀬会員が、自転車で秋の練馬を駆け抜けるという、大変ユニークな企画を用意して下さいました！ 見どころとしては、農住共生のインザファームの試み、住民運動により清流を取り戻した白子川源流井頭公園、告示建築線で出来た将校住宅、堤康次郎が戦前開発した大泉学園町住宅地(風致地区指定、最小限宅地規模110㎡)、食にこだわりの農家レストランLa毛利などです。農家レストランのランチを挟んで、練馬の田園と住宅地をサイクリングで回り、その空間を軽やかに実体験しながら、都市計画とまちづくりを考えましょう！



住宅地の中に保全された農地(生産緑地)



武蔵野の面影を残す井頭憩いの森(借上げ公園)

<参加レポート> 秋の練馬を駆け抜ける

今年4月に就任された「練馬まちづくりセンター」の小場瀬所長と練馬区役所の宮下さんの企画・ご案内により、秋の練馬を自転車で駆け抜ける研究会が開催されました。当日は秋晴れで通り抜ける風が清々しい絶好のサイクリング日和。参加者はお案内のお二人を入れて7名と少な目でしたが、狭い路地を駆け抜けるにはちょうど良い人数でした。まずは「ねりまタウンサイクル」で自転車を借ります。利用目的は『観光』にチェック！ 気分が盛り上がります。

最初に白子川源流のある「井頭公園」を目指します。途中、地主さんの固定資産税対策で区が借り上げている公園の説明を受けました。後で行った「憩いの森」とともに区内にはこのような借り上げの公園が多数存在するそうです。長年にわたり公園であったところが、相続などで廃止されることになることになると、存続を求める声が上がること多いそうです。

白子川源流では、「白子川源流・水辺の会」の永井薫さん、横山松栄さんからご説明いただきました。源流は護岸の継ぎ目などからしみ出てくる湧水。少しでも湧水を増やそうと、会では「源流まつり」や会報を通じて「雨水浸透枡」の設置を呼び掛けています。しかし、源流のすぐ近くに、下水道の放流出口があり、大雨の度に汚水混じりの雨水が、源流の清らかな水を汚してしまいます。23区内の8割が汚水と雨水の合流式だと伺いました。会の皆さんは分流式への変更を切に願っていますが、実現は遠い未来のことになりそうです。会の活動はホームページ([http://www.geocities.jp/sirako\\_river/](http://www.geocities.jp/sirako_river/))をご参照ください。

次に「井頭憩いの森」へ。ここも地主さんから借り上げている公園ですが、木々が溢れ、武蔵野の面影を残す素敵な環境でした。隣には竹林も残り、こちらの竹は区のイベントで竹炭にしたり、流しそうめんに使ったりと活用されているそうです。続いて「インザファーム」へ。中心の畑はあまり活用されていないようですが、地主さんのこだわりか、開放感のあるお洒落なアパートでした。駅の方へ戻り「石庭の森緑地」へ。ここは練馬区が購入した、元はお屋敷の前庭だったところです。屋敷森と自然石・石材による雰囲気のある公園です。

大泉学園通りを一気に駆け抜け埼玉県側へ。練馬区側には「風致地区」という交差点やバス停がある程ですが、埼玉県側は風致地区ではなく細分化が進んでいます。そして、練馬区側に戻り、なんとか街並みが守られている「大泉学園町」を通って、本日のお楽しみ、農家レストラン『La毛利』に到着です。旬の野菜と新鮮な魚介類、厳選されたお肉、パンもパスタも美味しくて大満足です。ここでは、農地保存の現状や課題で話が盛り上がりました。国の姿勢も変わってきたとのこと。食事の後は、白子川沿いを走り、最後の見どころ「将校住宅」の街並みを拝見しました。こちらでは街並み保存の動きも出てきているそうです。

一日で実にたくさんのことを見聞きできました。ハプニングもいろいろあって、とても楽しい研究会になりました。小場瀬所長、宮下さん、本当にありがとうございました。(記録：中島睦之)

## <参加者の意見・評価>

### 1◆練馬の街と自然の風景(全体)

評価:2.50 内訳:BBBC

B:秋から冬の晴天の日は、建て込んだ低層の町並みと畑、雑木林、屋敷のオープンスペースが適度に混じり合い、ほっとする空間になる。ただし、狭い道は交通事故と防災面がやはり心配。

B:敷地規模が大きく、手入れされた庭の住宅や雑木林、生産緑地が想像以上に立派である。

B:ゆったり感、おおらかさを感じました。

C:畑や公園、憩いの森など自然が多く残っているのだろうが、今回、走り抜けた感じでは、点在しており街全体としての魅力は無かった。

### 2◆白子川源流・井頭公園

評価:4.00 内訳:AAAC

A:市民の方の取り組みが素晴らしい。

A:住民のみなさんの地道な活動に敬意を評します。

A:住民の活動が熱心で立派。できれば、周辺に園地を広げたいところ。

C:水辺の会の源流保存活動は大変なことであり、高く評価されるべきことであるが、源流部は整備されず自然な感じが少ないと思った。また大雨時に汚水が放流され水質もあまり良くないということなので、本当の自然の美しさとは少し離れていると思った。



清流を取り戻した白子川源流・井頭公園



農住共生を試みるインザファーム(住宅部分)

### 3◆インザファーム

評価:3.00 内訳:ABBC

A:「開発許可や建築基準法の中でよく頑張った」と思いますが、これがスタンダードになってほしい。

B:中心の畑はあまり活用されていないようだったが、地主さんのこだわりか、開放感のあるお洒落なアパートで良かった。

B:アイデアは良いが活かされていない。使う人の意識は問題。また、区画が小さすぎるのも使いづらいと思う。責任を持てる少数者に長期間貸すべきだろう。

C:計画宅地内の家庭菜園、農地が荒れていた。計画とコミュニティ管理がかみ合っていないのでは。

### 4◆大泉学園町住宅地

評価:2.00 内訳:BBCC

B:開発当初の敷地規模の大きさが、その後の住宅地環境を左右することが、よくわかりました。

B:都市計画の頑張りの成果がよくわかりました。せっかくなので建築協定、緑化協定などにつながっていったらと思いました。

C:低層の個別住宅や集合住宅が大半で、「高さ」の点でほぼ統一されているのが良いと思う。ただし、今から

みると、区割りが画一的・平凡に過ぎ、変化に乏しく、道路交通網としても中途半端になっている。

C：範囲が広いので、街並みが守られているところと、アパートや駐車場が入り込んでいるところがあり、一律の評価は難しい。



風致地区指定された大泉学園住宅地（練馬区側）



細分化や高層化が進む大泉学園住宅地（新座市側）

### 5◆農家レストランLa 毛利

評価:3.50 内訳:ABBB

A：「食文化」の点で本格的でよいと思う。

B：自然を感じさせる素材を生かした料理で、パンもとても美味しかった。吊るしてある生ハムも美味しそうでした。ログハウス風の建物や窓から畑が見えるのも良かった。

B：椅子のデザインも楽しかったのですが、「農家」としてのアピールがもうひと押しほしい。

B：雰囲気がよく、楽しく食事ができた。

### 6◆旧将校住宅地

評価:3.00 内訳:BBB-

B：大きな敷地がそれほど細分化されず、手入れされた住宅地として残っている。

B：限られた範囲のためか、高級住宅地としての街並みが維持されていると感じた。

B：普通の良好な住宅地の印象、そもそも「らしさ」が何だったのかが伝わってこなかった。

### 7◆練馬の街と自然の良さを守り育てるための提案

●「井頭憩いの森」の武蔵野の原風景を残している緑地や、「石庭の森緑地」のように屋敷森を生かした緑に石を配置した人の手の入った庭園など、素晴らしい風景が何箇所もある（どちらも評価A）。財政的には大変だと思うが、今ある物を出来る限り減らさないよう頑張ってください。また農地（畑）については、貸農園がもっと柔軟に出来るようになれば、こちらは今ある農地を減らさずに済むのではないかと。

●市街地内の農業をしっかりと育てていくこと、消費者と生産者のつながりを大切にすることが大事だと思います。

●散歩するには良い感じのところが多いと思うが、実際には道幅の狭さや多数の交差点などが問題。自動車交通をどうするかが快適・安心に暮らす上で課題だと思う。あと、駅前や歩道の自転車も。

### 8◆今回の企画に参加しての感想など

●自転車利用により、機動的に動けて、また天候にも恵まれ、大変楽しめました。(T・I)

●自転車でまちを見て回る楽しさを初体験できました。小場瀬先生ありがとうございました。(H・M)

●農地を活かした取組みに独創性を感じました。(S・M)

●一日で実にたくさんのことを見聞きできました。また、自転車で駆け巡るといのが秀逸で、とても楽しい研究会になりました。小場瀬さん、宮下さん、本当にありがとうございました。(N・M)



白子川源流・水辺の会のお話を聞く